

5. 学科別副校長会報告

1. 工業科副校長会

(1) 平成 22 年度役員構成と定例会について

平成 22 年度は都立工業高等学校全日制課程（昼間定時制課程 1 課程含む）20 校 23 名で構成されている。

今年度からは工業高校長会に倣い、役員は選挙で決めることとし、投票の結果、平成 22 年度は以下の役員が決定した。

会 長	佐々木哲（六郷工科高校デュ）
副会長	板倉 哲（田無工業高校）
会 計	磯上辰雄（北豊島工業高校）
庶 務	清水昭弘（町田工業高校）

都立工業高校副校長会定例会は年間 11 回開催。毎月実施される副校長連絡会の午前に、都立工芸高校を主な会場として実施した。

定例会次第を次に示す。

- ①都立学校教育部、指導部の報告・連絡
- ②都工校長会及び全工協からの報告・連絡
- ③工業副校長会懸案事項に関する協議
- ④各研究部会の研究活動及び研究報告
- ⑤各校の情報交換及び教育に関する研修

上記 5 点で構成・実施している。

(2) 工業科生徒研究成果発表会の活性化

平成 22 年度本会の最重要課題として「工業科生徒研究成果発表大会の更なる活性化を通して工業高校生の素晴らしさを都民に広報する」を主題に定例会で協議を重ね、副校長の本事業に対する更なる理解と協力を求めた。

本事業は都教育委員会と都立工業高等学校長会との共催事業として実施してきたが、今一步各学校の関心が高まらず、第 12 回大会では発表応募本数が 7 本しか集まらないなど衰退の一途を辿っていた。

工業科に学ぶ生徒の日常の学習活動における成果発表の場である本大会を活性化させることが工業科に学ぶ生徒の活性化に繋がることを説き、工業高校全校で本大会を盛り上げる機運を

醸成し、第 13 回大会（平成 18 年）以降、大会参加数、発表本数共に増加した経緯がある。

学校経営のトップは校長であるが、学校経営の要は副校長である。工業副校長会の協議を通して副校長の事業に対する認識と使命感が高められ、協働意欲が醸成された結果、平成 18 年 11 月に都立科学技術高校で開催した第 13 回大会（私立 3 校を含む 24 校参加、口頭発表 24 本、パネル発表 4 本）に次ぐ、18 校参加（口頭発表 18 本、パネル発表 9 本）大会史上 2 番目の参加校数を得て今大会を終えることができた。

生徒の研究内容の水準、発表に当たってのプレゼンテーション技術、研究成果要旨の表現方法・体裁等、全ての面において第 13 回大会と比較して質的に向上しており、審査委員の学識経験者からも高い評価を得た。

詳細報告は別稿に譲り、以下に入賞校を紹介する。

最優秀賞 総合工科高校

「マイクロライントレースロボットの開発」

優秀賞 多摩工業高校

「挑み続けることの意味・ロボット・リベンジ」

優秀賞 六郷工科高校

「学校行事カウントダウンタイマーの製作」

優秀賞 北豊島工業高校

「省エネカーを用いたエコタイヤの研究」

優秀賞 府中工業高校

「燃費競技大会に向けてのエコマイレージカーの製作」

特別賞 多摩科学技術高校

「ロボットの研究～六足歩行ロボットの製作」

特別賞 荒川工業高校

「文部科学省 ICT スクール 2009 に参加して」

特別賞 大森学園高校

「シャボン玉発生器の製作」

東京都産業教育振興会賞 蔵前工業高校

「ものづくりコンテストへの挑戦」

東京都産業教育振興会賞（ポスター発表）

「雨水発電機の研究」多摩科学技術高校

東京都立工業高等学校

PTA 連合会理事長賞 足立工業高校

「地域貢献するものづくりボランティア活動」

以上の12発表が入賞した。入賞を逃した発表には努力賞が贈られた。

来年度は、工業高校以外の副校長にも是非御覧頂きたい。

(3) 研修活動について

都教委から、平成23年度以降、新たに東京版デュアルシステムを導入する都立工業高校4校の発表もあり、東京版デュアルシステム制度が求められた背景及び東京版デュアルシステム制度そのものの理解に焦点をあて理解を深める研修を実施した。

<研修の目的>

都立工業高等学校副校長としての資質・能力の向上を図り、創造的な教育課程の開発及び編成・管理能力の育成に資する。

具体的には以下に示す2点を目的とする。

東京版デュアルシステムのモデルとなった、ドイツにおける職業教育制度デュアルシステムについての理解を深める。平成23年度以降デュアルシステム導入予定4校及び全ての工業高校に対する、東京版デュアルシステムを取入れ教育課程の開発及び編成に資する。

<研修の方法・内容>

① 第4回定例会研修(9月14日)

研修主題「東京版デュアルシステムの成果と課題」

講師：佐々木哲(六郷工科高校デュ副校長)

② 第7回定例会研修(12月10日)

研修主題「ドイツにおける職業教育制度デュアルシステムの現状と課題」

講師：坂野慎二(玉川大学教職大学院教授)

(4) 研究活動について

研究組織は例年通り3つの部会で、工業の特色を生かし、日常の学校経営や教育活動に資する研究テーマで取り組み、実践に生かせる成果と次年度に向けての課題を示した。

①工業教育研究部会

【研究テーマ】

「ものづくり人材育成プログラム事業への取り組みとICT活用状況について」

【成果】

・ものづくり人材育成プログラム事業の取り組み状況と課題を明らかにした。

・ITC活用の現状を明らかにした。

【課題】

・大学との日程調整等及びこの事業についてより一層の有効活用を図る。
・旅費システム等の稼働時間の改善

②管理運営研究部会

【研究テーマ】

「都立工業高校における学校運営連絡協議会の現状と課題」

【成果】

・都立高校150校の報告書の分析を通し、工業高校の6つの課題を明らかにした。

【課題】

・学校運営連絡協議会が形式だけの制度とならないように、組織的対応や経営評価を行うなど、各学校に適応した組織・運営に改革していく必要がある。

③生徒指導研究部会

【研究テーマ】

「都立工業高校における生活指導の実態と課題」

【成果】

・工業高校で厳しい対応を求められる精神的課題を持つ生徒の実態と対応の問題点を明らかにした。

【課題】

・SCの配置や外部機関との相談機能の拡充が必要である。

(5) おわりに

来年度は本研修研究の成果を基に各工業高校の使命を全うするべく新体制で臨む。

常任幹事 佐々木 哲(六郷工科デュ)記



2. 商業科副校長会

東京都商業関係高等学校副校長会は、会員校13校13名で構成されている。商業関係の都立高等学校は商業高校9校、ビジネスコミュニケーション科2校、普通科併設校1校、産業科(ビジネス情報分野)1校である。

商業関係高等学校副校長連絡会には都教委より統括指導主事および指導主事の参加をいただき、学校経営支援センター別副校長連絡会当日の午前中に全商会館(全国商業高等学校協会)を定例会場として実施している。

定例会では、都教委からの連絡・報告、研究協議、情報交換等を行い、商業関係高校の活性化の方策や学校運営について研究を行っている。今年度の活動実績は、次のとおりである。

第1回定例会 全商会館

平成22年5月13日(木)10:00～

- (1) 東京都教育委員会からの連絡
 - ・教育庁指導部高等学校教育指導課より
平成22年3月末進路状況について
 - ・教職員研修センターより
- (2) 幹事会報告
- (3) 東京都商業教育研究会
総会6/25(金)15:30～17:00 芝商業
- (4) 情報交換会等
 - ・平成22年度活動方針、年間計画
 - ・東京都商業高等学校連盟の会費納入について

第2回定例会 全商会館

平成22年6月15日(火)10:00～

- (1) 東京都教育委員会からの連絡
 - ・教育庁指導部高等学校教育指導課より
 - ・教職員研修センターより
商業高校ネットワーク連絡会
7月2日(金)第四商業
- (2) 幹事会報告
- (3) 東京都商業教育研究会
 - ・6月25日(金)都商研総会・研究協議会
- (4) 情報交換会等
 - ・商業高校生徒による販売実習について
 - ・登校許可の時間等について

・積立金等について

第3回定例会 全商会館

平成22年7月13日(火)10:00～

- (1) 東京都教育委員会からの連絡
 - ・教育庁指導部高等学校教育指導課より
専門高校等学習成果発表会について
→今年度開催なし
 - ・教職員研修センターより
東京都教育実践発表会について
10月1日(金)教職員研修センター
- (2) 幹事会報告
 - ・都立高等学校副校長研究協議会について
8月24日(火)教職員研修センター
- (3) 東京都商業教育研究会
 - ・都立商業高等学校教務主任会議
8月31日(火)第四商業
- (4) 情報交換会等
 - ・商業高校生徒による販売実習について
 - ・各校の企業からの求人状況について
 - ・個人情報の管理方法について

第4回定例会 全商会館

平成22年10月12日(火)10:00～

- (1) 東京都教育委員会からの連絡
 - ・教育庁指導部高等学校教育指導課より
 - ・教職員研修センターより
- (2) 幹事会報告
- (3) 東京都商業教育研究会
 - ・全国産業教育フェアについて(つくば市)
10月16日(土)荒川商業が参加
 - ・全商英語スピーチコンテスト
10月16日(土)江東商業
 - ・都立商業高等学校生活指導主任会議
10月22日(金)芝商業
- (4) 情報交換会等
 - ・カリキュラム編成について
 - ・各校の進路状況(就職状況)について
 - ・東京都公立商業高等学校文化交流会について

第5回定例会 全商会館

平成22年11月16日(火)10:00～

- (1) 東京都教育委員会からの連絡
 - ・教育庁指導部高等学校教育指導課より

- ・教職員研修センターより
- (2) 幹事会報告
- (3) 東京都商業教育研究会
 - ・都立商業高等学校進路指導主任会議
12月17日(金) 第三商業
 - ・都商研「広告研修会」12月9日(木)
- (4) 情報交換会等
 - ・学校説明会の状況について
 - ・新教育課程編成の取り組み状況について
 - ・情報セキュリティおよび管理運営規則について

第6回定例会 全商会館

平成22年12月10日(金) 10:00～

- (1) 東京都教育委員会からの連絡
 - ・教育庁指導部高等学校教育指導課より
 - ・教職員研修センターより
- (2) 幹事会報告
- (3) 東京都商業教育研究会
- (4) 情報交換会等
 - ・進路状況について
 - ・推薦入試の応募状況と学校説明会等の取り組みについて
 - ・情報セキュリティ、個人情報保護に向けての校内PC等の廃棄等について

第7回定例会 多摩社会教育会館

平成23年1月18日(火) 9:00～

- (1) 東京都教育委員会からの連絡
 - ・教育庁指導部高等学校教育指導課より
- (2) 幹事会報告
- (3) 東京都商業教育研究会
- (4) 情報交換会等
 - ・新学習指導要領の各校取り組みについて
 - ・TAIMSのデータ共有について

第8回定例会 全商会館

平成23年2月17日(木) 10:00～

- (1) 東京都教育委員会からの連絡
 - ・教育庁指導部高等学校教育指導課より
 - ・教職員研修センターより
- (2) 幹事会報告
- (3) 東京都商業教育研究会
- (4) 情報交換会等
 - ・情報セキュリティ、個人情報保護に向けて

の校内PC等の廃棄等について

- ・入試応募状況と今後の取り組みについて

第9回定例会 全商会館

平成23年3月17日(木) 10:00～

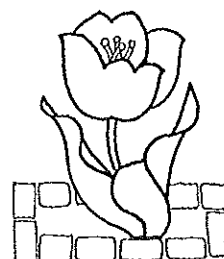
- (1) 東京都教育委員会からの連絡
 - ・教育庁指導部高等学校教育指導課より
 - ・教職員研修センターより
- (2) 幹事会報告
- (3) 東京都商業教育研究会
- (4) 情報交換会等
 - ・商業高校の活性化について

日本経済回復の兆しがはっきり見えない中、平成22年度も引き続き、四年制大学卒業生の就職状況が非常に厳しい。就業構造の変化や地方から東京への就職希望の増加傾向もあり、都立商業高校生の就職についても厳しい状況が続いている。

このような状況において、商業高校の真価が問われており、特に東京の商業教育をいかに活性化し、発展させていくかが課題である。東京都商業関係高等学校副校長会では、一層充実した就職や進学に向け、情報交換や情報共有をしている。

新学習指導要領の実施に向けて、特色ある教育課程を編成し、今後とも魅力のある商業高校を目指し、学校運営に取り組んでいきたい。東京都商業関係高等学校副校長会が中心となり、見える形で広く中学生に商業高校の良さをアピールしていきたいと考えている。

常任幹事 岡本 裕之（第一商業）記



3. 農業科副校長会

東京都農業関係高等学校副校長会は、都教委より平柳指導主事の参加をいただき、会員学校数9校、15名のメンバーで、支援センター別副校長連絡会当日の午前中に都立農芸高校を会場として実施している。

定例会では、都教委からの連絡、各部署からの連絡・報告、情報交換、連携事業などの調整等を行い、農業教育の推進と一層の活性化を目指している。

第1回定例会

日時 平成22年5月13日(木) 9:30～11:00

会場 都立農芸高校

- 内容(1) 指導部高等学校教育指導課より
- (2) 幹事会報告
 - (3) 平成22年度役割分担
 - (4) 全国農業高等学校長協会総会係業務
 - (5) 都庁花壇植栽、都農研、都農業クラブ連盟
 - (6) 情報交換
ICT、授業観察、自己申告書、eラーニングなど

第2回定例会

日時 平成22年6月15日(火) 9:30～11:00

会場 都立農芸高校

- 内容(1) 指導部高等学校教育指導課より
- (2) 幹事会報告
 - (3) 都庁花壇植栽
 - (4) 農場主任会議
 - (5) 東京都農業祭
 - (6) 全国農業高校収穫祭
 - (7) 三宅島緑化プロジェクト
 - (8) 都農研、農業クラブ関東大会
 - (9) 情報交換
口蹄疫への対応、交通安全指導、梅ウイルスへの対応、授業観察、自己申告書、旅費申請システムなど

第3回定例会

日時 平成22年7月13日(火) 9:30～11:00

会場 都立農芸高校

- 内容(1) 指導部高等学校教育指導課より
- (2) 幹事会報告

- (3) 農場主任会議
- (4) 東京都教育実践発表会
- (5) 東京都農業祭
- (6) 全国農業高校収穫祭
- (7) 都農研、農業クラブ関東大会
- (8) 情報交換 ICT研修、FogosPRO など

第4回定例会

日時 平成22年9月14日(火) 9:00～9:20

会場 多摩社会教育会館 304 研修室

- 内容(1) 指導部高等学校教育指導課より
- (2) 幹事会報告
 - (3) 東京都教育実践発表会
 - (4) 第61回関東甲静地区農業関係高等学校教頭・副校長研究協議会
 - (5) 東京都農業祭
 - (6) 全国農業高校収穫祭
 - (7) 情報交換 各校から報告

第5回定例会

日時 平成22年10月12日(火) 9:30～11:00

会場 都立農芸高校

- 内容(1) 指導部高等学校教育指導課より
- (2) 幹事会報告
 - (3) 東京都教育実践発表会報告
 - (4) 東京都農業祭
 - (5) 全国農業高校収穫祭
 - (6) 三宅島緑化プロジェクト
 - (7) 都農研、農業クラブ都連盟
 - (8) 情報交換
授業観察、職務面接、学校行事、入学選抜に関する調査、平成23年度体力テストの実施など

第6回定例会

日時 平成22年11月16日(火) 9:30～11:00

会場 都立農芸高校

- 内容(1) 指導部高等学校教育指導課より
- (2) 幹事会報告
 - (3) 東京都農業祭報告
 - (4) 全国農業高校収穫祭
 - (5) 三宅島緑化プロジェクト
 - (6) 専門高校学習成果発表事業(仮称)
 - (7) 都農研、農業クラブ都連盟
 - (8) 第62回関東甲静地区農業関係高等学校教頭・副校長研究協議会
 - (9) 情報交換
文化祭、新学習指導要領への対応、

ICT 研修及び活用状況など

第 7 回定例会

日時 平成 22 年 12 月 10 日(金) 9:30～11:00

会場 都立農芸高校

内容(1) 指導部高等学校教育指導課より

- (2) 幹事会報告
- (3) 都農研総会・研究協議会
- (4) 全国農業高校収穫祭報告
- (5) 三宅島緑化プロジェクト報告
- (6) 目指せスペシャリスト！ in 虎ノ門
～専門高校生による成果発表～報告
- (7) 農業クラブ都連盟
- (8) 「ものづくり立国・日本」次世代フェスタ
- (9) 情報交換
「個人情報事故紛失再発防止対策について」、鳥インフルエンザ対応、平成 23 年度年間行事予定など

第 8 回定例会

日時 平成 23 年 1 月 18 日(金) 9:00～9:50

会場 多摩社会教育会館 302 研修室

内容(1) 指導部高等学校教育指導課より

- (2) 幹事会報告
- (3) 都農研総会・研究協議会
- (4) 教育研究事業
- (5) 農業クラブ都連盟
- (6) 「ものづくり立国・日本」次世代フェスタ報告
- (7) 情報交換
実習助手等の TAIMS 個人端末配置についてなど

第 9 回定例会

日時 平成 23 年 2 月 17 日(木) 9:30～11:00

会場 都立農芸高校

内容(1) 指導部高等学校教育指導課より

- (2) 幹事会報告
- (3) 平成 23 年度係分担
- (4) 都農研総会・研究協議会
- (5) 農業クラブ都連盟
- (6) 都庁花壇植栽
- (7) 情報交換

第 10 回定例会

日時 平成 23 年 3 月 17 日(木) 9:30～11:00

会場 都立農芸高校

内容(1) 指導部高等学校教育指導課より

(2) 幹事会報告

(3) 平成 23 年度係分担

(4) 都農研総会・研究協議会

(5) 農業クラブ都連盟

(6) 都庁花壇植栽

(7) 農場主任会議

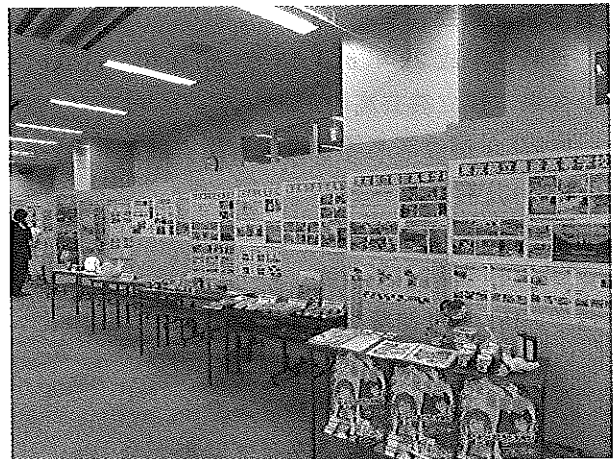
(8) 情報交換

農業科副校長会では、各校が連携して都教委の事業や文科省、農業関連団体等の外部団体との連携事業に取り組んでいる。今年度も「東京都教育実践発表会」10月1日、「東京都農業祭」11月2・3日、「全国農業高校収穫祭」11月20・21日、「目指せスペシャリスト！ in 虎ノ門～専門高校生による成果発表～」11月24・25日、「ものづくり立国・日本 次世代フェスタ」1月15・16日などで東京都の農業教育の内容について発表した。

平成 22 年度東京都教育実践発表会

本年度の東京都教育実践発表会は、下記の内容で実施された。

- 1 日時 平成 22 年 10 月 1 日(金)午前 9 時から 午後 5 時まで
- 2 場所 東京都教職員研修センター
- 3 内容 (1) 特色ある教育活動
(2) 優れた教育実践



農業系高校の展示の様子

平成 25 年度実施学習指導要領に対応した教育課程の編成が進む中、今後もスペシャリストの育成、特色ある学校づくり、地域と連携した学校運営などをおして農業の担い手育成を目指して今後の活動を続けていきたい。

常任幹事 小堀 紀明（農産）記